

仕事創発価値

UTグループ株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

若 山 陽 一



経営指標に想うこと

この原稿の執筆中に「ESG×収益力」という観点で、持続的に高収益を上げられると評価できる企業は欧米勢が多い、との新聞記事が目に入った。株主重視の経営や四半期開示が当たり前になった今日において、財務的な成長性や利益以外にも目を向けるべきだとの考え方は多くの示唆を与えてくれる。例えば、企業を取り巻く環境が激しく変化し続けるなか、リストラで人件費を削減して短期間で利益を出すというのは一つの手だ。人を雇うと利益が減るから雇わない。しかし、企業経営の本質の一つは雇用を生むことにもあるのではないか。企業が生み出す利益とは、価値とは何か。企業の社会的な役割をどう考えるべきか。自らが軸とする指標＝視点を改めて振り返ってみたい。

「仕事を創ることが仕事」

UTグループは、製造業向けの人材派遣・請負会社として今期で創業25周年を迎える。当社では、創業当初から派遣社員を正社員として無期雇用しているが、これは生産調整時の人件費を顧客から肩代わりすることになるため、当時の製造派遣業界では非常識な経営だと評されていた。この間、IT不況、リーマンショックなどのリセッションを経たものの、2018年には当社が雇用する派遣社員は二万人を超え、製造業派遣